

☆今月のオススメの商品☆

パッドサンダー

いざという時にお役に立つ「しろもの」です !!



サビ落とし可能



水洗い可能



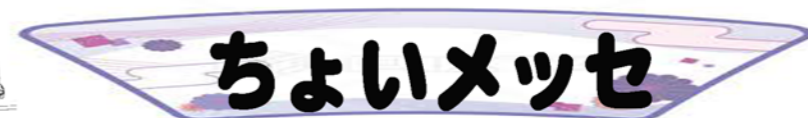
木製品の仕上げに



PS-14

《 特徴 》

- 水洗いが可能 !!
- 従来のサンドペーパーの約 10 倍長持ち
専用パッドは酸化アルミニウムの研磨剤を特殊繊維にコーティングしてあるため、従来のサンドペーパーと比べて約 10 倍の耐久性があります。
- 替えパットは 3 種類用意、用途に合わせて選べる仕様
木材・石膏・プラスチックなどの研削・ペンキはがし・サビ落とし等に便利
- 繰り返し使用が可能でとっても便利
目詰まりしたら水で軽く洗ってから使用すれば何回も繰り返し使うことができます



ちょいメッセ



我彦 武大

『 最高速度 120 km で事故が減る !? 』

東北道、新東名の高速道路の一部区間で最高速度が 120 km に引き上げられたのはご存じでしょうか？ 制限速度を 120 km にしたら事故が起きやすくなるんじゃないかと思われがちですが、逆に引き上げたことで事故が減っているそうです。そもそも、高速道路の設計は多くの区間で 120 km でつくられているので、最高速度 120 km で走るの、実は正しい使い方になったのではないのでしょうか。

最高速度 120 km になり移動時間の短縮、渋滞の緩和が期待されているようですが、120 km の区間が数 10 km しかないのと大型トラックの制限速度は 80 km のままなので、走りにくいという声もあるようです。

また多くの先進国では速度制限が 120 km になっているようです。最高速度 100 km というのは海外から見ても遅く、1963 年の高速道路の開通からの制限速度であり、半世紀が経った今では車の性能が上がっており、重心も低くなり高速でも安定して走れるようになっているので、最高速度の引き上げは理にかなったものではないのでしょうか。

ねもかな



通信

No. 94

令和元年
5月号

発行人
根本金物

〒960-8032
福島市陣場町 9-28
TEL 024-534-0962
FAX 024-531-3024

優ライフ情報

今月の「わいわいクラブ」は五月二十二日(水) (午後二時)です。皆様の参加お待ちしております。



『あゝ夢かあゝ』



「わゝ火事だー」と、足元から火の手が上がる。

「消火器！消火器！消火器！ あったゝ !!」ピンを抜いてレバーを握る。「あれ？あれ？あれ？」何とちよろちよろしか出ない。それでも何とか沈火した。

「何で出ないんだ？」と恐るおそる製造年月日を確認。なんと1995年5月製造…。と、ここで「なんだ夢かゝ」と目が覚める。で消火器の製造番号を見るとすでに10年以上たっていた。

こんなこともあるんですね。皆様もご家庭の消火器の製造年月日を一度確認されてみてはいかがでしょうか？



『春うつらら』

根本 三枝子

花見シーズンから新緑の季節がやって来ました。

ある日、デパートでウィンドーショッピングをしていた所、インナーウェアで梅の花をあしらった、春らしくとても優しい色の物が目に止まりました。何気なく手に取ってみていると、お店の方に『何かお探しですか』と声を掛けられました。

『あまりにも素敵だったので…』『そつなんです、これはオーダー品なんですよ』との事。私には高嶺の花…ですがそれよりも今やインナーまでもがオーダーの時代になろうとしているのかな？

もつじき平成から令和に代わりますがどんな時代になるのでしょうか。私も置いて行かれないようにしなくっちゃあゝ！



『新時代の幕開け』

根本 勉

この5月には新天皇の即位に際し、4月1日に新しい元号も『令和』と発表されました。何となく新しい時代の始まりを感じます。

さて、新しい時代といえれば通信環境が著しく変わる第5世代の5Gが話題になっておりますが、少し前にこんな話を耳にしました。

場所はオランダかオーストリアかは忘れましたが、5Gの実験が行われた際、大量のムクドリやカモが死んでいたそうです。その数双方合わせて296羽だそうです。タイミング的には実験が行われた時間に該当しますが、実験場から少し離れた公園だった為、5Gの実験のせいでは死んだのかは定かではありません。しかし、それも死因が電磁波など



メンバーの小部屋

趣味のことから思った事、感じた事など自由にコメントしております。楽しんで頂けますと幸いです。



『キャンディー』

平尾 和重

皆さんは個別包装されたキャンディーそっくりの外見のフェイスマスクがある事をご存知ですか？そっくりな形に圧縮されており、見た目はキャンディーそのもの。

それがたまたま我家の食品置場にバラの状態置いてあったものですから、そのマスクを初めて見た時はついつい包みを開けて口の中に入れそうになったほどです。(そもそも何でそんな所に!?)

辛うじて違いに気づいたものの、子供達が誤って食べてしまっでは危険！と早速長女にその事を伝えました。すると長女は一言「大丈夫だよ、マズくてすぐ吐き出したからもう食べる事はないよ」ちょっと伝えるのが遅かったようです(笑)

その後、置場所はもちろん変更しました。



『テレビ番組』

佐藤 信吾

最近のテレビの番組では日本の良いところを特集、紹介するものが多いですね。

日本の企業に外国の同業者が視察に来て自国とどう違うかを知ったり、あるいはメイドインジャパンの物を里帰りした時に家族にプレゼントしたりなど、日本の文化、技術がいかに世界的に見て素晴らしいかを再確認させられるものだと思います。

しかし、海外にも目を向けて逆に外国の素晴らしいところ、日本が世界的に見て後進の分野などを外国の先進国から学ぶという番組も、もっとあっても良いのではないかと思います。

番組を見ていて、自国より優れているところを素直にすごいと感じ、日本に追いつき追い越せと思う外国の方々が増えたら、いずれは日本は抜かれてしまうような気がします。

やはり日本も学ぶということを忘れてはいけなさと改めて感じた今日この頃です。



『トヨタ方式』

我彦 武大

タイトルを見ると、また車の記事かと思った方もいるでしょうが、今回は車の記事ではありません。ここでのトヨタ方式というのは、品質マネジメントの徹底により在庫を少なくして廃棄を減らし、また現場での負担を減らし、如何に組織全体の生産効率をあげられるかという絶え間ない改善のことです。

今年の冬はまさかの原因不明の発熱でいろいろな病院に行き、入院と通院をしていました。どの病院も朝から大混雑。待ち時間は長く、受付に「いつまでかかるのか？」と声を荒げる人もおりました。

ほんの一例ですが、外来患者1人当たりの時間を減らすために実験が行われたことがあります。外来患者を実名で呼ばず番号札を配り番号で呼び出しをし、1人に掛かる時間を約5秒短縮したそうです。たった5秒でも外来患者の人数が数百人単位なので、例えば200人の場合、5秒×200人で1000秒(16分40秒)の時間短縮になり、患者の待ち時間と超過勤務の低減になります。

実際に診察券を機械に通して呼出番号と現在の診察番号をディスプレイに出してあるところもあり、いつ呼ばれるのか、分かりやすくしてたり工夫しているところもありました。

絶え間なく改善を考えている点は、トヨタや病院の事例など今後の参考にしたいと思った次第です。



『おすすめの本』



人を見る眼 仕事を見る眼

PHP 研究所 編

佐藤 信吾

この文庫は経営の神様と言われた松下幸之助の生涯を通したエピソードが綴られています。彼の言葉の一つひとつを見ていると、リーダーとはどういうものだろうと常に考えさせられます。自分の立場なら、相手の事を考える、いろいろな局面から物事を見られるだろうか。自分の都合が入ってしまい、双方が悪い方向になってしまうのではないかと思います。

「会社に悪い人はいない。会社の役に立つ人だから採用している。自分より劣る人を引き出してあげるのが責任者の仕事だ」とあり、他の人が出来ないのを嘆くのではなく、その人をいかに出来るように導いていくのがトップの責任なのだと感じました。

年数を重ねていくと必ず人を育てていかなければいけない立場になっていくので、学びを重ねてまずは自分自身のレベルを上げていきたいと思います。



「鍵穴」

お客様の声



平尾 和重

お客様からたまに錠前の件でお問合せを頂く時があります。

内容としましては鍵の不調についての事が多いのですが、その中でも多いのが「鍵穴に子鍵を差し込んだのに回らない・回しづらい」というものです。

不調の原因は錠前自体の破損であったり、引違錠であれば扉の戸車が減ってしまった事によるズレだったり千差万別です。ただ、ここ最近目立つのがメンテナンス不足による不調。長い間に鍵穴から入り込んだ埃や汚れが奥に溜まり、動きを悪くしているのです。

そんな時は鍵穴専用の洗浄・潤滑スプレーでシュッと一吹き！溜まった汚れを落としながら、潤滑も良くしてくれます。(しばらくは鍵穴に子鍵を使用するたびに大量の黒い汚れが付着しますのでご注意ください。) また、スプレーは洗浄もするものをお選び頂くのがコツです。潤滑だけのものと使用したその時だけは良いのですが、使用条件によっては潤滑剤自体に新たな埃や汚れが付着しさらに状況が悪化する事もあります。

上記のような症状で心当たりのある方はお試し頂くのも良いかもしれません。



つぶやき



5月というと「鯉のぼり」コイというフナと並んで日本では昔からなじみのある魚ですが、皆さんはコイとフナの決定的な違いをご存知ですか？大きく成長したコイだとわかると思うのですが、小さい個体ですと体型だけでは区別しづらいと思います。

決定的な違い、それはズバリ！ヒゲの有無です。コイには立派なひげがあります。その他では横から見たときにフナは口が前向きなのに対してコイは下向きです。これは水底の餌を食べるのに適した形状になっている為です。

「鯉のぼり」を手作りされる時はヒゲを書き込まないと違う魚ののぼりになってしまいますね！